

# 管理所レビュー VOL.10

(R4.9.27 水源林管理所)

令和4年度、第10回のボランティア活動が、9月10日(土)に実施されました。

当日の朝はやや雲の多い空模様でしたが、次第に日が差し始め、爽やかな間伐日和となり、無事に活動を実施することができました。皆様、大変お疲れ様でした。

9月17日～25日までのシルバーウィークでは、2週連続の台風接近とその影響による大雨&長雨により、道志村でも約430mmの総雨量を計測しましたが、特に大きな被害もなく、一安心しています。

次回の28日(水)の活動日も天候に恵まれるようで、今のところ今年度予定の活動全てを実施できています。10月も台風シーズンではありますが、残りの活動も安全第一で全実施といきましょう！

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 活動当日の様子



活動開始当時は雲の多い空模様。



準備体操をしっかりと。



道志村は秋の気配。



始まりの会で体調確認。



ロープはなるべく高い位置に！



追い口の切り込み位置を確認！



傾斜地での作業は体勢を整えて。



目標どおりに見事に伐倒。



傾斜地でのロープ引きは注意して！



隣接する班はお互いに声をかけて！



受け口が大きいですね！



ロープ引きでは木に足を掛けないで！

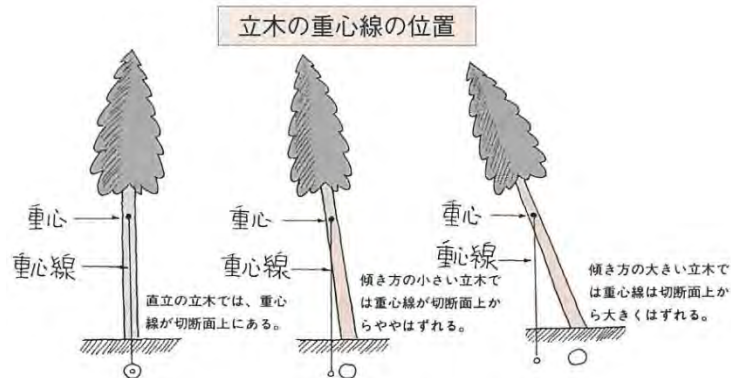
## 2 再確認！伐倒方向の選定。

(1) 伐倒方向は、伐倒する立木の状態、隣接木の状況、地形、風向、伐倒後の作業方法、材を損傷させないことなどを考慮して、安全で確実に倒せる方向を選定します。

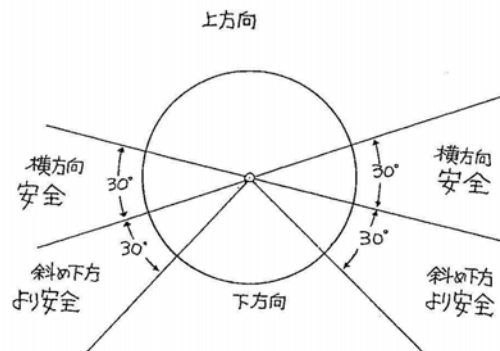
① 立木の傾き、曲がり、枝の張り具合など、立木の状態から重心の位置を判断します。

重心の位置の判断は、伐倒の準備作業の中できわめて重要なものの一つです。

② 隣接木との枝がらみ、つるがらみの有無とその状態、伐倒方向線上の障害物の有無と伐倒方向の変化、はね返りの可能性などを判断して、伐倒の方向を選択します。



(2) 伐倒方向は、一般的には、斜面の横方向か、斜め下方を選定します。



① 横方向への伐倒は、伐倒した材の安定がよく、伐倒後の作業が容易で安全です。重心を移動させて伐倒することが多いので、多少の熟練を要します。

② 斜め下方への伐倒は、重心の方向に近い方向へ伐倒することが多く、比較的作業は容易です。

③ 重心が谷側にある木を下方向に倒すのは容易ですが、倒れる時の速度が最も大きくなるため、伐倒木が倒れるなど材の損傷が起きやすいばかりでなく、折れた幹や枝の飛来の恐れがあり、危険です。また、上方向への伐倒は、通常は起こし木になり、くさびやけん引具を用いて行うことが必要で熟練を要します。適切な伐倒でないときは、倒れる時に元口が作業者に当たったり、伐倒木が滑落して作業者を巻き込む恐れがあります。

(「伐木造材作業者必携」より一部抜粋)

※ 伐倒方向は安全を第一に、横方向か斜め下方とし、下方向もしくは上方向への選定しかない等、安全な伐倒が困難な場合は、無理をせず、残すようにしてください。

※ 次回、9月28日(水)は、晴れ時々曇り、最高気温25度の予報となっています。

**★それでは次回9月28日、気をつけてお越しください。**